

チャトゲコナジラミの天敵クロツヤテントウおよび シルベストリコバチに対する各種農薬の影響

(本文 13 ページ参照, 小澤昭人氏原図)



口絵① シルベストリコバチの円形脱出口
(矢印の羽化殻)



口絵② シルベストリコバチの雌成虫



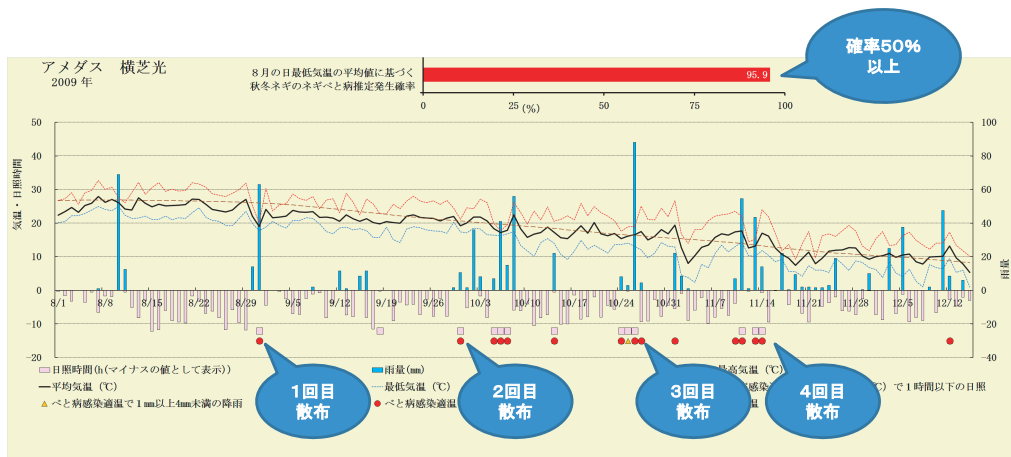
口絵③ クロツヤテントウの幼虫



口絵④ チャトゲコナジラミの成虫を捕食する
クロツヤテントウの成虫

千葉県秋冬ネギにおけるネギベと病防除支援情報システム 「ネギベと病なび」の開発

(本文 26 ページ参照, 横山とも子氏原図)



口絵① 「ネギベと病なび」の防除支援チャート画面と薬剤散布時期のイメージ

気温は、平均：黒の実線、最高：赤の破線、最低：青の破線、平均気温の平年値：オレンジの破線の折れ線グラフで表示される。

降水量は青の正の棒グラフで、日照時間はピンクの負の棒グラフで表示される。

8月の日最低気温平均値から推定される発生確率はチャート上方に赤の横棒グラフで表示される。

感染しやすい気象条件が出現した日に、条件に合わせ印がつく。桃色□と赤○が同時に付いた日を感染危険日とする。発生確率が50%以上のシーズンは、最初に出現した感染危険日に1回目の散布を行う。

残効が切れた後に感染危険日が出たタイミングで、2回目の薬剤散布を行う。

以降、圃場における発生、薬剤の残効期間、チャート上の感染危険日の出現を注視しながら薬剤散布を継続する。